

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	日本語総合
科目基礎情報					
科目番号	1111G01		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教養		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2	
教科書/教材	高専日本語アビリティ I (阿南高専) / 常用漢字ダブルクリア (尚文出版)				
担当教員	錦織 浩文				
到達目標					
1. 情報の収集・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 2. 実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 3. 古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベル(優)		標準的な到達レベル(良)		最低限の到達レベル(可)
到達目標1	情報の収集・整理を適切に行い、論理的な構成、適切な表現スキルにより口頭発表できる。		情報の収集・整理を適切に行い、論理的な構成により口頭発表できる。		情報の収集・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。
到達目標2	実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を適切に用いて即応的に作成できる。		実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を適切に用いて作成できる。		実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。
到達目標3	古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を自分の考えを加えて適切に説明できる。		古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を適切に説明できる。		古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 C-2					
教育方法等					
概要	科学技術に関するものを含む広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。				
授業の進め方・方法	授業は、文章表現に関する学習・練習を基本とする。また、表現力・理解力を育むために漢字学習を行う。【授業時間60時間】				
注意点	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（マンガ、雑誌、テキストを除く）。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。	
		2週	文書作成 (履歴書)	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		3週	文書作成 (履歴書)	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		4週	文書作成 (履歴書)	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		5週	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		6週	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		7週	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	詩歌作成 (短歌)	短歌の形式に則り、短歌を作成できる。	
		10週	詩歌作成 (短歌)	短歌の形式に則り、短歌を作成できる。	
		11週	文書作成 (通信文)	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		12週	文書作成 (通信文)	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		13週	文書作成 (通信文)	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		14週	詩歌作成 (俳句)	俳句の形式に則り、俳句を作成できる。	
		15週	詩歌作成 (俳句)	俳句の形式に則り、俳句を作成できる。	
		16週	答案返却		
後期	3rdQ	1週	文章作成 (超短文)	テーマに沿った効果的な短文を作成できる。	
		2週	文章作成 (超短文)	テーマに沿った効果的な短文を作成できる。	
		3週	古文 (物語)	古文 (該当部分) の意味・内容を説明できる。	
		4週	古文 (物語)	古文 (該当部分) の意味・内容を説明できる。	
		5週	古文 (日記)	古文 (該当部分) の意味・内容を説明できる。	
		6週	古文 (随筆)	古文 (該当部分) の意味・内容を説明できる。	
		7週	古文 (紀行文)	古文 (該当部分) の意味・内容を説明できる。	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	発表 (POPを用いた本の紹介)	POPを作成し、本の魅力を発表できる。	

	10週	発表（POPを用いた本の紹介）	POPを作成し、本の魅力を発表できる。
	11週	小論文	小論文作成のための構成メモを作成できる。
	12週	小論文	テーマに沿って小論文を作成できる。
	13週	漢文（漢詩）	漢詩の基礎を理解し説明できる。
	14週	漢文（格言）	格言の意味・内容を説明できる。
	15週	漢文（格言）	格言の意味・内容を説明できる。
	16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	社会生活で使われる語彙（故事成語・慣用句等を含む）を増やし、思考・表現に活用できる。	2	前9,前10,前14,前15,後13,後14,後15
				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	2	後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後13
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	2	前9,前10,前14,前15,後1,後2
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べるができる。	2	後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	2	後1,後2,後11,後12
				実用的な文章（手紙・メール等）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	前2,前3,前4,前11,前12,前13
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	2	後11,後12
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	2	後11,後12
				作成した報告・論文の内容及び自分の思考や考察を資料（図解・動画等）にまとめ、的確に口頭発表できる。	2	
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	後9,後10
相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	後9,後10				
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	後9,後10				
分野横断的能力	汎用的技能	コミュニケーションスキル	コミュニケーションスキル	他者の考えや主張を理解するために、相手を尊重し配慮する態度をとることができる。	2	前5,前6,前7
				目的に応じた適切な方法で自分の考えや主張を伝えることができる。	2	前5,前6,前7,前11,前12,前13,前14,後1,後2
				多様な他者との間で良好な人間関係を形成するための行動ができる。	2	前5,前6,前7
		情報収集・活用・発信力	情報収集・活用・発信力	デジタルツールを含む種々の手段や各種メディアを活用し、情報を収集できる。	2	
				信頼性・妥当性・有効性などを考慮しながら情報を検証・評価できる。	2	
				自己及び他者の権利に配慮し、適切な方法を用いて情報を活用し、効果的に情報発信できる。	2	
		思考力	思考力	複合的な事象や出来事を分析できる。	2	前9,前10,前14,前15,後1,後2,後9,後10,後11,後12
				情報や主張を批判的に検証できる。	2	後9,後10,後11,後12
				情報や主張を説得的に提示するための方法を考えることができる。	2	後9,後10,後11,後12
		創造性・デザイン能力	創造性	創造性	専門分野以外の多様なものの捉え方や視点の重要性を認識し、受け入れることができる。	2
多角的な視点から事象を分析し、対応すべき問題を定義できる。	2				後11,後12	
様々な知識を統合的に活用しながら、あらかじめ答えが与えられていない問題に対する解決方法を考えることができる。	2				後11,後12	

評価割合

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	70	0	20	10	0	100
基礎的能力	70	0	20	10	0	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0